



大阪医学統計学セミナー 第98回

Osaka Biostatistics Seminar

6月6日 (金)
16:00~18:00

「時間イベント型評価項目・単群臨床試験に対する
ベイズ流検出力に基づく標本サイズ設計」

講演者：堀口 剛
(京都府立医科大学)



OSAKA UNIVERSITY

場所：
医学系研究科基礎研究棟L階
医学統計学研究室
オンライン併用開催

参加ご希望の方は、前日までに下記メールアドレスまでご連絡をお願いいたします。

office@biosatat.med.osaka-u.ac.jp

概要：

全生存期間 (OS) や無増悪生存期間 (PFS) などのイベントまでの時間 (time-to-event) をアウトカムとした単群臨床試験におけるベイズ流標本サイズ設計を考える。具体的には、ヒストリカル対照と試験治療の生存関数に比例ハザード性が成り立つことを仮定した上で、ハザード比に関する事後確率及び事前予測確率を用いたベイズ流検出力に基づく標本サイズ設計を提案する。発表では、方法の詳細とともに複数のシナリオ設定のもとで評価した動作特性の結果を示す。

お問い合わせ：大阪大学大学院医学系研究科 医学統計学講座
E-Mail : office@biostat.med.osaka-u.ac.jp TEL : 06-6879-3301